

熱川温泉病院 石田 みな子

- 功 績** 研修責任者としてミャンマー技能実習生5名全員を「介護技能実習評価試験 初級」合格に導いた功績。
- 推 薦 者** 宮本 純代
- 推 薦 理 由** 主任の石田は技能実習指導員として5名全員を合格に導きました。これは実習生たちの努力は勿論ですが、研修を主導した石田が各病棟で指導するケアワーカーリーダーをまとめ上げ、看護部全体で実習生の教育に携わったことが主たる要因であるため。

内 容

国際化が進む健育会の中で、当院は平成29年より中国人看護師、平成30年にEPAに基づくフィリピン人看護師候補生を受入れてきましたが、昨年末よりミャンマー人介護技能実習生5名が新たに入職することになり、言葉や文化の違いに戸惑いながらも、明るい性格の彼女たちは先輩たちの指導を受けながら介護の経験を積んできました。そして5人の1年目の目標は、『介護技能実習評価試験 初級』の合格で、その指導責任者の役割を担ったのが石田です。

今年6月から毎週金曜日に勉強会を開催し、石田とケアワーカーリーダーたちが問題演習と介護実技を指導しました。その際、難しい単語はスマートフォンで画像を見せイメージできるよう工夫しました。また、実技対策として実際の試験に沿ったシナリオを作成し、読み合わせを行い、細かい指導を入れながら慣れるようにしました。勉強会の最後は反省会とし、石田から介護の基本をもとにしたアドバイスをし、さらに練習を重ね、指導するケアワーカーリーダーとのミーティングと学習の進捗状況の管理を続けました。

9月上旬に行われた本試験では学科（20問・60分間）と実技（60分間）に挑戦しました。石田も指導員として試験に参加し、期待と不安の面持ちで奮闘する彼女たちを見守りました。そして先日、5人全員の合格の吉報を得ることができました。教えるたびに驚くほど日本語や介護技術が上達していく実習生たちを指導した3か月間はとてもやりがいを感じたそうです。

実習生たちの次の目標は2年後に行われる「専門級」試験の合格です。今後も彼女たちの技能向上のため指導を続け、健育会が目指す「国際化による日本の医療の発展」に貢献していくことを期待して理事長賞にご推薦申し上げます。